くみあいNEWS

第１５２４１号
2021年2月2日(火)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

2021年度第19回中央委員会報告

【日時】1月28日（木）17時15分～17時50分
【出欠】出席46人　委任52人　欠席0人
【議長】小嶋氏

Ⅰ.報告事項

1. 上部団体会議報告
・第29回中央執行委員会
・中央労使協議報告
2. 各種会議等報告
・関西製鉄所ブランド委員会について
3. 箇所労使協議報告
・関西製鉄所和歌山地区における生産設備構造対策人員措置について
・2021年2月度生産計画について
4. 政策実現対策委員会報告
・「岩出市議会議員選挙」の結果について

Ⅱ.協議事項

1. 和歌山労組安全研修会の開催について
2. 職場環境・福利厚生等に関するアンケートの実施について

Ⅲ.審議事項

1. 和歌山労組としてのＡＰ21春季取組みに関する件
2. 基幹労連「第18回中央委員会」への対応に関する件

Ⅳ.その他

1. 2月度日程について

報告事項4件、異議なく承認
協議事項2件、異議なく承認
審議事項2件、満場一致で可決決定

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します

関西製鉄所和歌山地区における生産設備構造対策人員措置について

（会　社）
去る、2020年6月4日に中央で開催された臨時経営委員会・労使協議会「生産設備構造対策と経営ソフト刷新施策の実施について（その5）」において、会社は、連合会からの要請も踏まえ、「人員措置の具体的な内容について、検討の進捗等も踏まえつつ前広に組合に説明する」と申し述べたところである。
本日は、人員措置の規模及び配置転換先について一定の方向性を得たことから、以下説明する。
まず、生産設備構造対策に係る人員措置の基本的考え方についてあらためて申し述べることとする。
先の臨時経営委員会・労使協議会で説明した通り、会社としては、当社グループ内で雇用の場を確保していくことを前提に、当該製鉄所・当該地区内での要人員バランスをもとに、同事業所内での再配置を優先に検討することとあわせて、余剰人員の発生・解消状況や各人の職務経験、技術・技能等を有効に活用していく観点等も踏まえ、より効率的な人員配置を実現する考えである。
こうした基本的考え方のもと、関西製鉄所としては、再雇用者を含めた人員措置について「関西製鉄所における和歌山地区内での配置転換を優先」とし、中長期にわたる所内・全社における要人員バランス等を踏まえつつ、同種・類似職場への異動を指向し、検討した結果、次の通り方向性を得たところである。

今般の関西製鉄所第1高炉（第4・第5コークス炉、第5－1焼結機、第3連続鋳造機の一部設備含む）の休止に伴う人員措置については、「関西製鉄所における和歌山地区内での配置転換」とする。それに伴い、地区内各部門の要人員バランスおよび見通し等を踏まえ、同一部内への配置転換を優先とし、同一部内に受入れ余力がない場合は、他部門への配置転換を検討してきたところである。

結果、現時点での他部門への配置転換者数については、製銑部から20名程度を見込んでおり、鋼管部及び設備部を中心とした和歌山地区内の部門を優先に、配置転換先の検討を進めていくこととする。

人員措置を検討するにあたっては、繰り返し申し述べている通り、会社として当社グループ内で雇用の場を確保していくとともに、要人員バランスならびに各人の職務経験、技術・技能等を有効に活用していく観点等を踏まえた、より効率的な人員配置を実現していくことが、肝要と考えている。

今回の設備休止による人員措置は、地区内への配置転換という方向性となったが、この内容についても、今回対象となる設備およびそこに係る人員規模を前提に、現時点における経営環境や生産状況、またこれらに伴う要人員バランス等を踏まえ検討した結果として得られたものである。

（組　合）

ただ今、会社より「関西製鉄所和歌山地区における生産設備構造対策人員措置」について説明を受けた。

本件は、2022 年度上期を休止目途としている和歌山地区の鉄源設備および関連業務に従事されている方々の具体的な人員措置の規模及び配置転換先についてであり、これまで「生産設備構造対策と経営ソフト刷新施策の実施について（補足説明）」及び「和歌山製鉄所における生産設備構造対策の実施について」として、臨時経営委員会・労使協議会の中で話し合いを重ねてきたところである。

組合としては「居所の移動を伴わない配置転換とすべき」という従来の考えに変わりはなく、今日まで会社に対し強く求めてきたところであり、会社からは、今次施策に係る人員措置について「関西製鉄所和歌山地区内での配置転換とする」旨が述べられたところである。本日は、会社が示した人員措置の内容について、改めて会社見解を質すこととする。

1. 配置転換者の数について

会社は、同一部内への配置転換を優先的に検討し、同一部内での受入れ余力がない場合に、他部門への配置転換を検討するとしている。先の臨時経営委員会・労使協議会「和歌山製鉄所における生産設備構造対策の実施について」の交渉においては、対象配置人員規模を 140 名程度としていたが、製銑部から他部門へ 20 名程度の配置転換を見込むこととなったその理由について聞きたい。

また、同一部内での配置転換者の人数についても聞いておきたい。

（会　社）

去る 2020 年 2 月 7 日に実施した箇所の臨時経営委員会・労使協議会において、配置人員規模は 140 名程度と説明したものの、今日まで今次施策による設備休止の人員影響について当該職場と協議を重ねると共に、施策実行後も高付加価値商品の安定生産を継続するべく必要な要員規模の精査を改めて行ってきたところである。また、足元の要員変動や定年退職による自然減などの人員変動に加え、先々の計画を織込んだ要人員バランスの見通し等を踏まえた結果、当初の計画を下回ることとなった。

このことにより、とりわけ他部門への配置転換については、製銑部より 20 名程度と見込んでおり、一方で製銑部、製鋼部それぞれにおける工場間の異動を伴う配置転換は現時点で 10 名程度を想定しているところである。なお、各工場内での配置変更については現在も検討中であり、各配置転換者数が確定次第改めて説明することとする。

（組　合）

会社は、他部門への配置転換先を「鋼管部及び設備部を中心」としているが、その理由について聞きたい。

（会　社）

他部門への配置転換先については、関西製鉄所和歌山地区においてより効率的な人員配置を実現していく観点から同地区内の要人員バランス等を踏まえ検討した結果であり、生産変動が生じた場合に必要人員に不足が生じる可能性がある鋼管部及び要人員バランス上、人員補充が求められる設備部を中心に検討している次第である。会社としては、他部門への配置転換についても各人のこれまで培われた職務経験、技術・技能等を有効に活用していく考えであり、個別面談等を通じ

て本人の事情を十分に斟酌したうえで慎重に判断していくことから、組合ならびに従業員の皆さんのご理解・ご協力をお願いする次第である。

（組　合）
ただ今、「関西製鉄所和歌山地区における生産設備構造対策人員措置」について会社見解を質したところである。
本案件においては、会社として効率的な人員配置についての具体的な説明を行うなど、和歌山地区全体で認識の共有化を図ることが重要であり、労使間においても十分な時間をかけた話し合いが必要と考えているところである。
組合としては、引き続き当該支部との連携のもと職場意向把握に努めることとし、配置転換先等の詳細が決まり次第、労使話し合いの場において改めて説明を求めていくこととする。

「岩出市議会議員選挙」の結果について

1. 岩出市議会議員選挙

（定数 14 人　立候補者 14 人）

（1）選挙日程

告 示 日　1 月 24 日（日）

選挙期日　1 月 31 日（日）

（2）推薦候補者

吉本 勧曜（よしもと　かんよう）

（3）選 挙 結 果

候補者名	所　属	得票数	当　落
吉本 勧曜	無所属	無投票	当　選

※岩出市議会議員選挙は立候補者が定数を超えなかったため、無投票で当選となる。



皆さんのご協力ありがとうございました

和歌山労組安全研修会開催について

労働組合 2021 年度安全活動の一環として、下記要領にて和歌山労組安全研修会を実施する。

1. 日　時

2021 年 4 月 19 日（月）14 時 00 分～

2. 場　所

組合会館、堺・海南地区事務所

3. 参加者

柳谷副組合長、中濱書記長、労働対策部（中出・平垣）、各支部長・副支部長　計 52 人

4. スケジュール予定

時　　間	内　　容
14：00～14：01	開会
14：01～14：05	労働組合安全統轄挨拶
14：05～14：10	スケジュール説明・準備
14：10～15：10	安全講話（安全健康室）
15：10～15：20	休憩・準備
15：20～15：50	日本製鉄労連の安全取組みについて（仮）
15：50～16：00	休憩
16：00～17：00	基幹労連の安全取組みについて（仮）
17：01～17：05	閉会挨拶

職場環境・福利厚生等に関するアンケートの実施について

1. 取組期間

2021 年 2 月 1 日（月）～2021 年 3 月 1 日（月）

2. 対 象 者

全組合員（長期療養者等は除く）

3. 調査方法

無記名でのアンケート方式

4. 配布・回収方法

（1）組合員数分のアンケート用紙と回収用の封筒を配布する。

（2）記入したアンケート用紙については、各支部単位で集約後、組合会館（和歌山・堺・海南）に返送願う。

和歌山労組としての ＡＰ21 春季取組みに関する件

基幹労連は、ＡＰ21 春季取組み方針(案)において、雇用の確保を大前提に労働条件の改善による消費の喚起と拡大に向けて、2 年サイクルにおける「個別改善年度」の取り組みとして「人への投資」に向けた継続的な取り組みを進めていくこととしている。

また、日本製鉄労連のＡＰ21 春季取組みについては、ＡＰ20 春季取組みの経過および基幹労連の取組み動向等を踏まえ、2020 年 12 月 15 日に開催された第 28 回中央執行委員会において、「日本製鉄労連としてのＡＰ21 春季取組みへの対応について(案)」としてその考え方を提起し、各単組に対し本内容について職場動向の把握を行うよう要請した。

これを受けて和歌山労組としては、2020 年 12 月 28 日に開催した第 18 回中央委員会において説明を行うとともに、各支部における意見集約に努めてきた。その結果、各支部から特段の意見がないことを確認し、1 月 21 日に開催された第 29 回中央執行委員会において、和歌山労組として日本製鉄労連の原案に異議はないことを表明した。

さらに、各単組からも特段意見がなかったことから、日本製鉄労連はそれらを踏まえ、「ＡＰ21 春季取組みに臨む日本製鉄労連の基本スタンス(案)」を提起した。その中で、ＡＰ21 春季取組みにおいては、「個別改善年度」として緊急を要する改善項目はないものと判断し、統一的な要求項目を掲げての取組みは行わないこととした。

一方、2021 年年間一時金については、2020 年一時金に傾斜配分した財源の取扱いを含め、2020 年度の会社業績を踏まえて改めて会社と協議することとしており、日本製鉄労連としては組合員の生活を第一義とした対応を図っていくとの考え方を示した。

また、日本製鉄グループ総連合会の中核組織としての役割と責任を果たすべく、グループ総連合会や連合会各単組とも連携を図り、要請に基づく情報提供などの交渉支援や経営申入れ行動を中心にその役割を最大限に果たしていくとしている。

従って、和歌山労組としても、日本製鉄労連の基本スタンスを踏まえ、日本製鉄グループ総連合会和歌山ブロックならびに、基幹労連和歌山県本部加盟組織に対する最大限の支援に全力で取組むこととする。

基幹労連「第 18 回中央委員会」への対応に関する件

基幹労連「第 18 回中央委員会」の開催に伴い、和歌山労組として下記の通り対応する。

1. 日　　時

2 月 9 日（火）13：30～17：30（予定）

2. 開催方法

Ｗｅｂ開催

3. 対 応 者

中濱書記長　（中央委員）

柳谷副組合長（基幹労連和歌山県本部事務局長の立場で出席）

4. 議　　事

（1）報告事項

①活動経過報告

②組織拡大報告

③その他

（2）審議事項

①ＡＰ21 春季取り組みに関する件

②第 26 回参議院議員選挙対策に関する件

③基幹労連共済年金制度「夢プラン」受給者死亡に伴う給付金支払いに関する件

④規定の一部改正に関する件

⑤選挙管理委員会設置に関する件

⑥第 11 期中央本部役員定数に関する件

5. 臨む態度

上記議案に対し日本製鉄労連の方針を確認した上で臨むこととする。